

平成26年12月4日

# 日立理科クラブ通信

No. 23



日立理科クラブ

## 青少年のための科学の祭典・日立大会

### 日立理科クラブ「電磁力のふしぎな力」「科学の楽しさ1日体験」の出展

平成26年11月30日（日）に行われた科学の祭典の日立理科クラブの活動を紹介します。科学の祭典・日立大会は、今年で14回目を迎えます。出展ブースは過去2番目の規模で、56にのぼり、多くの子どもの参加でとても盛り上がりました。来場者数は5120名です。また、駒王中は、授業として1・2年生は午前の部に、3年生は午後の部に参加し、科学の楽しさを存分に体感していました。



日立理科クラブの出展ブースの1つ、「電磁力のふしぎな力」は、モーター作りです。アルミはく、磁石、プラスチックカップ、単三乾電池を使った簡単なモーターを作りました。6名の担当者が一人一人の参加者に対応して作品を完成させていました。子どもたちは自分の手で作った作品がぐるぐる回っている様子にとってもうれしい表情を見せていました。低学年の子どもたちは、磁石の上下を反対にただでカップの回転が逆になることに不思議そうな顔をしていましたが、高学年になって理科の授業で学習するとき、きっとこの日のことを思い出すのではないかと思います。

「科学の楽しさ1日体験」のブースは、科学館の一階ギャラリーで行われました。教材コーナーの展示では、理数アカデミーの講師陣が、オリジナルの教材等を使った「手作り授業」を行いました。展示内容は、

- 1 電気の性質
- 2 水の性質と私たちの暮らし
- 3 空気の性質と私たちの暮らし
- 4 暮らしを支えるエネルギー
- 5 数学を楽しむ



です。迫力のあるオリジナルの実験教具にとっても関心を示し、講師陣の説明に興味を持って聞き入っていました。テーマ研究コーナーでは、理数アカデミーの受講生のテーマ研究作品がパネルに展示され、受講生が自ら研究内容を説明していました。研究テーマは、理数アカデミーの発表会の時にもポスターセッションとして発表されたもので、

- 1 地震をやわらげる
- 2 水ロケットを科学する
- 3 水の不思議
- 4 エコな熱利用の研究
- 5 音の不思議
- 6 電波をつかまえる
- 7 光で無線通信にチャレンジしよう
- 8 ロボットを自分の手で作って動かそう
- 9 台所からの環境化学
- 10 植物工場を我が家に造ってみよう



です。受講生が取り組んだ内容が、同世代の中学生にどう影響したのかとても興味のあるところでした。

科学の祭典全体を通して、子どもたちの作品作りに夢中になってる姿や、「来年も、また来ます。」という子どもたちの声に、とてもうれしくなりました。

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104